

9. 明石に投下された爆弾・焼夷弾

(1)500 ポンド爆弾 (M64)

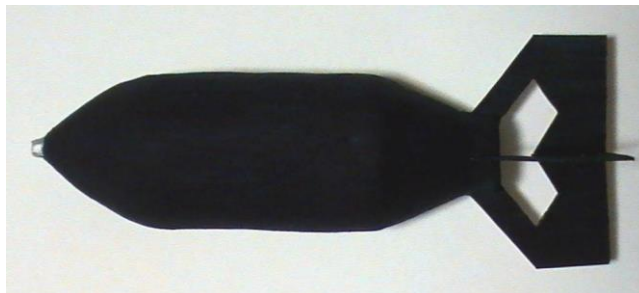
1月19日、7月28日に投下されました。



(複製) 江戸東京博物館 所蔵

(2)4000 ポンド爆弾 (M56)

6月9日、22日、26日に投下されました。



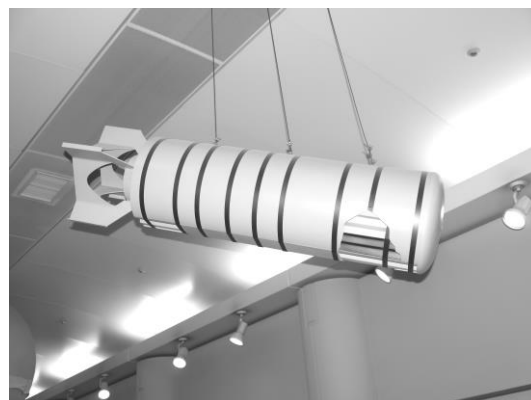
(模型)：全長：約3m、直径約90cm

(3)焼夷弾 (M69)・収束焼夷弾 (E46) 7月7日に投下されました。



M69：全長50cm、直径8cm

このM69を38個束ねたものが右のE46です。



(模型) 埼玉県平和資料館 所蔵

(4) 市内で見つかった不発弾

2005年(平成17年)、川崎重工業(株)明石工場内の工事現場から、戦時中に投下された250kg爆弾が見つかりました。戦後、60年も経ってから見つかった不発弾ですが、爆発する可能性があるため、周辺住民を避難させたり、すぐそばを通るJRや道路の通行を禁止したりして自衛隊による不発弾処理が行われました。



以後、不発弾発見の情報はありませんが、当時、大量に投下された爆弾・焼夷弾のいくつかは、不発弾として、まだ地中に残っているかもしれません。